

福島第一原子力発電所 サブドレンのPu分析結果<1/2>

1. 測定結果：

(データ集約:3/4)
(単位：Bq/L)

採取場所	採取日	Pu-238	Pu-239+Pu-240
2号機サブドレン	平成26年10月10日	N.D. [6.1×10^{-4}]	N.D. [5.2×10^{-4}]
1号機サブドレン	平成26年10月10日	$(1.3 \pm 0.28) \times 10^{-3}$	N.D. [5.2×10^{-4}]

[]内は検出限界値を示す

2. 分析機関：株式会社 化研

3. 評価：

過去測定した試料と同程度の濃度であり、今回のプルトニウムの検出についても、建屋からの新たな漏洩に因るものではなく、事故後にフォールアウトにより地表に降り積もったプルトニウムが雨水により表土とともに当該サブドレンに流入し、一時的に検出されたものと考えている。

以 上

福島第一原子力発電所 サブドレンのPu分析結果<2/2>

1. 測定結果：

(データ集約:3/4)
(単位：Bq/L)

採取場所	採取日	Pu-238	Pu-239+Pu-240
2号機サブドレン	平成26年11月7日	N.D. [6.8×10^{-4}]	N.D. [5.8×10^{-4}]
3号機サブドレン	平成26年11月7日	N.D. [6.3×10^{-4}]	N.D. [5.7×10^{-4}]

[]内は検出限界値を示す

2. 分析機関：株式会社 化研

3. 評価：

今回測定した試料からはPu-238, Pu-239+Pu-240は検出されなかった。

以 上

サブドレン核種分析結果

(データ集約：3/4)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 1号機サブドレン
試料採取日	平成26年10月10日	平成26年10月10日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	
I-131 (約8日)	ND(8.5)	ND(8.6)
Cs-134 (約2年)	34	28
Cs-137 (約30年)	100	93
H-3 (約12年)	210	38,000
全	ND(2.5)	ND(2.5)
全	260	240
Sr-89 (約51日)	ND(0.2)	ND(0.3)
Sr-90 (約29年)	48	0.51

NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

I-131, Cs-134, Cs-137については, 平成26年10月11日公表。

Sr-89, Sr-90の分析は株式会社 化研にて実施。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており, 今回の事故による影響と考えられる。